

HUMAN

## 人口減少社会で地元の価値を向上させるには？ 県宅地建物取引業協会湘南中支部の支部長に就任

株式会社添田土地の添田直代表取締役が5月、県宅建協会湘南中支部第15代支部長に就任した。同支部には平塚・秦野・伊勢原・大磯・二宮の404社が加盟する。コロナ禍のなかでの就任以来、地域の価値を向上させることに苦心する毎日だ。

同協会の業務は「不動産の専門家として、多種多様な賃貸借・売買・管理上の問題を解決し、安全な取引を目指すことがテーマ」という。「生活に近いものでは、行政の無料相談室への相談員派遣などを行っています。また、近年は空き家問題なども多い」のだとか。平塚市では2013年、約12,000戸の空き家があった。これらの利活用について、行政ともタッグを組んで取り組んでいる。

同業が集まる業界団体としては、情報交換や個々の会社のフォローが主たる業務。加えて自治体への都市計画提案なども担う。「都心部のベッドタウンといえば聞こえはいいですが、平塚は“川向こう”といわれてきた。ですが区画整備はしっかりしていますし、茅ヶ崎や藤沢との都市間競争で十



株式会社添田土地  
代表取締役  
添田直さん

分勝負できるはず」という。「とはいえ駅周辺と郊外、さらにそれぞれのコミュニティを密につなぐ交通網がないと、25万人都市を維持できない。全体としての価値を高めることが、市民にとって住みよい街になると考えます」

ハコモノを建てたり、大企業を誘致するだけが不動産業者のまちづくりではない。同協会ではイベントなどでのチャリティー活動も熱心に行なう。「お金をだすことも大事ですが、一緒に汗をかくことが大事な時代」と話す。同協会の活動は、遠いようで、生活に密接に結びついている。